

財政健全化における競艇事業の繰出金について

**問** 施設改善の起債により繰出金に影響があるが、今後の見通しはどのようなか。

**答** 25年度は20億円を予定しているが、財源は10億9千万円の基金の取り崩しが含まれる。施設改善工事の総事業費90億円の内、30億円を借り入れる。26、27年度は20億円の繰り出しを予定できるが、償還金3億円の返済が始まる28年度以降は返済額が確保できない見通しである。

食物アレルギーによる事故の防止策は

**問** 東京都調布市で食物アレルギーによる痛ましい事故が発生したが、事故防止のための対策はどうか。



**答** 24年度に市民病院の指導のもと、全学校長、保健主事、養護教諭を対象にアナフィラキシー症状緩和の

ための補助治療剤エピペンの講習会を開催した。エピペンを持っていく児童は2名いるが、その学校でも講習会を開催し、いざというときのために準備している。

図書館支援員の配置を

**問** 緊急雇用創出事

業による図書館支援員の配置に対して教育委員会は、どのように考えているのか。



**答** 財政の厳しい折ではあるが、今後とも支援員や司書の配置による有用性を関係機関に訴えて、その配置を求めていきたい。

学校体育館天井等の落下防止対策を

**問** 体育の授業中に地震が発生する可能性もあり、地震発生時に天井等が落下すると避難所として学校体育館が利用できなくなる。天井等落下防止の対策はどうか。

**答** 25年度予算で小中学校あわせて386万円の耐震点検委託料を計上している。今後は点検結果に基づき必要

な対策を検討していきたい。  
空き家対策について

**問** 市内の空き家の現状と条例化の進捗状況は。

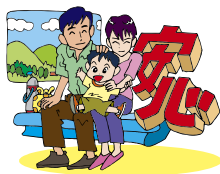
**答** 24年10月の調査では、市内全域に80棟近い危険廃屋があるとの報告を受けた。新たに、勧告、命令、あるいは、市による強制執行が可能となるような条例の制定を検討しており、パブリックコメントに寄せられた意見を加味して25年6月議会に提案をしていきたい。

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

**問** 西尾市と支援内

容の合意をしていくとのことだが、25年度以降の存続は決定しているのか。

**答** 25年度から27



年度までの3年間で支援金額は両市あわせて年額2億5千万円で合意し、名鉄側に存続を依頼した。正式には3月下旬に予定されている名鉄対策協議会で決定することになっている。

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種について

**問** 接種費用に対する助成の内容と周知の方法はどうか。

**答** 市民のうち75歳以上の方と

65歳以上75歳未満で一定の障害を持つ方に1回あたり3千円を助成する。広報への掲載、ポスター等による周知のほか、チラシを後期高齢者医療健康診査の受診券と同封するなどの周知を予定している。

うつ対策・自殺予防対策について

**問** 今後のうつ対策・自殺予防対策の予定はどうか。

**答** ゲートキーパー養成は今年度、民生委員等を対象に研修を実施したが、新年度は市職員を対象に2回の研修を予定している。市のホームページ内で心の健康状態をセルフチェックする「こころの体温計」を新年度事業に導入する。いじめや自殺をテーマに水谷修氏を招いた講演会を考えている。

